

平成30年度 自然観察会 実施報告

四日市自然保護推進委員会

回数	第 5 回	参加者数	110 名 参加団体（ 四中工理科部 ）	
テーマ	川の生き物と石ころ調査			
実施日	平成30年8月12日	天候	曇り	
場所	三滝川 新尾平橋付近			
コース	開会時刻（10：05）三滝川河原 <水生生物コース>→新尾平橋下流側→河原 解散時刻（11：45） <地学コース>→新尾平橋上流側 解散時刻（11：30）			
<p>指導内容など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域では川遊びが制限されているため、経験の少ない子供が多いです。川の生き物に触れ、川の中での活動のしかたを指導しました。 ・河原にある自然の石を観察し、石の種類や地形の成り立ちなどを学習しました。 ・事前に大勢で下見を行い、当日参加者に危険のないように安全な観察場所を決め、通り道の草を刈りました。当日にはロープやコーンを用意して行動範囲を知らせたり、万一のために氷や飲料・塩飴等の準備をしたり、緊急時の連絡方法の確認をしました。 ・参加者にも注意を促し、事故や不調者を出すことなく安全に観察がおこなえました。 ・ツルヨシなどの河原のつる植物は足を引っ掛けやすく、危険を感じました。 ・石の観察場所は、堤防から川原へ降りるとき足場が悪く傾斜が急でした。また、川を渡るとき流れが速く少し深さがありました。子供にはやや危険でしたのでロープを張って渡りました。 ・お盆でしたが大勢の参加がありました。いつもより「初めての参加者」が多く、楽しんでいただきました。 ・サンダルでの参加がありました。危険の無いように十分に周知したいです。 				
<p>参加者の声など（抜粋）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな生き物が見られた。 ・石の種類がわかってよかった。 ・石の発見が楽しかった。 ・四日市の自然のすばらしさを知りました。 ・どのあたりにどんな生き物がいるのか教えていただけたのが良かった。 ・たくさんのスタッフがいたので、特に危険なことはなかった。 ・楽しかった。 				

観察記録（観察・採集・目撃・鳴き声 などの種類）		
観察物の花期、出現期などの状況		
植物	ツルヨシ、クルマバザクロソウ、オオイヌタデ、カヤツリグサ、スカシタゴボウ、ヨウシュヤマゴボウ、ヒレタゴボウ、アキノエノコログサ、ケイヌビエ、オオカワヂシヤ、アレチウリ、ミゾソバ、オオアレチノギク	
昆虫 など	ハグロトンボ、ウスバキトンボ、シオカラトンボ、ナガサキアゲハ、アオスジアゲハ、ナガコガネグモ、ミヤマアカネ、コオニヤンマ、アブラゼミ、コバネイナゴ、アシナガバチ	
水生生物	魚	カワヨシノボリ（成体・卵）、アブラハヤ、スナヤツメ（稀）、オイカワ、カワムツ、モツゴ、カマツカ、ウキゴリ
	エビ・カニ類	モクズガニ、アメリカザリガニ、ミゾレヌマエビ
	貝	サカマキガイ、ナガオカモノアラガイ
	昆虫	アメンボ類、モンキマメゲンゴロウ、タイコウチ、ヤゴ（コオニヤンマ、コヤマトンボ、サナエトンボのなかま）、ヒゲナガカワトビケラ、コムズムシのなかま、ガガンボ、ヘビトンボ
地学	花崗岩、アプライト（半花崗岩）、泥岩、砂岩、チャート、ホルンフェルス、緑色ひん岩、石英	
野鳥	コサギ、コシアカツバメ、ムクドリ、カワラヒワ、イカルチドリ、セグロセキレイ、キジバト、カワセミ、アオサギ、ハクセキレイ、ハシブトガラス	
動物	ヌマガエル、ウシガエル（幼生）、トノサマガエル、ニホンイシガメ	

観察のようす

